

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

事業番号		0090/150510/07/00		事業の種類	4		
年度	22	事務事業名	鍼灸・マッサージ施療費助成事業		作成日	重要度	4
予算事業名		鍼灸・マッサージ施療費助成事業		担当課名	市民課		
政策名		すこやかに暮らせる、心かようまちづくり					
施策名		社会福祉		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		老人鍼灸・マッサージ等施療費助成規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の住民					
	誰(何)を対象として	65歳以上の鍼灸・マッサージ等施療利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	鍼灸・マッサージ等施療費の一部を助成することにより、健康を保ち、健やかに暮らす					

2 事業の概要 Do

実施の概要		65歳以上の鍼灸マッサージ施療利用者に施療費の一部を助成				
活動実績	項目	単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度計画
	助成費	円	2,632,800	3,039,000	3,177,000	3,680,000
	助成回数	回	3,291	3,039	3,177	3,680
	申請者数	人	492	509	508	600
	対象者数	人	8,854	9,007	9,030	9,000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		20年度決算	21年度決算	前年比	22年度決算	前年比	23年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.083	0.086	103.6	0.087	101.2	0.083	95.4	
	主幹以下職員	0.023	0.021	91.3	0.021	100.0	0.018	85.7	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	897,396	882,215	98.3	881,604	99.9	820,524	93.1	
	事業費	2,693,595	3,091,290	114.8	3,228,450	104.4	3,746,000	116.0	
	合計	3,590,991	3,973,505	110.7	4,110,054	103.4	4,566,524	111.1	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	3,590,991	3,973,505	110.7	4,110,054	103.4	4,566,524	111.1	
	合計	3,590,991	3,973,505	110.7	4,110,054	103.4	4,566,524	111.1	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの鍼灸・マッサージ施療助成回数							
指標説明(式)		受診回数/申請人数							
指標単位	区分	20年度	21年度	前年比	22年度	前年比	23年度(計画)	前年比	備考
回	目標	7.7	7.2	93.5	6.1	84.7	6.1	100.0	
	実績	6.7	6	89.6	6.3	105.0			
指標名2		対象者にかかる申請率							
指標説明(式)		申請人数/対象者数							
指標単位	区分	20年度	21年度	前年比	22年度	前年比	23年度(計画)	前年比	備考
%	目標	6.9	5.7	82.6	6.7	117.5	6.7	100.0	
	実績	5.6	5.7	101.8	5.6	98.2			

【効率性】

指標名1		鍼灸・マッサージ施療助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)/件数							
指標単位	区分	20年度	21年度	前年比	22年度	前年比	23年度(計画)	前年比	備考
円	実績	1,091	1,308	119.9	1,294	98.9	1,241	95.9	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	20年度	21年度	前年比	22年度	前年比	23年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(22年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	施療費を助成することにより市民の健康増進、保持が期待できる	5	4
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に占める申請者の割合、申請者1人当りの助成回数はほぼ横ばいであり、適正な助成を行った	4	4
	市民サービス	施療費を助成することにより、経済的負担を軽減することができた		
効率性	コストの節減	更なるコスト節減を図る	4	4
	手段の最適性	適正な助成を行った		

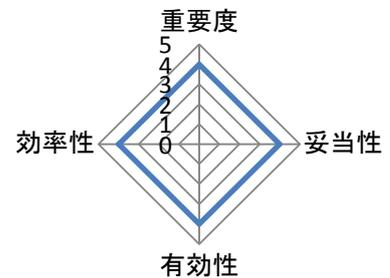
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	申請者の割合が頭打ちとなっている

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた23年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	申請者数が頭打ちとなっているため、対象者への制度の周知を図る
H22→H23予算反映額		0



検討の有無	-
総合指標	22